

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 将	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

今年はいつまでも寒く、梅の開花も遅かったにもかかわらず、4月に入り、入学式にドンぴしゃのタイミングで桜が咲きほこっています。春が巡ってきました。大学の居室が南向きで、この時期の午後は部屋が暑いくらいになってしまいます。おながが一杯になったお昼時の眠いこと。

さて、今月号の特集は「睡眠と覚醒の脳内機構」をテーマにお届けします。私事で恐縮ですが、私の名前が入った最初の論文は睡眠に関するものです。レム睡眠時に抗重力筋が弛緩します。この論文では慢性のネコで脳幹網様体にある咬筋のプレモーターニューロンにガラス管微小電極を刺し、細胞内電位を記録しています。脳波が徐波から低振幅速波に変わり、筋電図が消失し、急速眼球運動が始まると細胞内電位がすーっと(それこそスーッとなのです)過分極したのを今でも鮮明に覚えています。小山先生の特集総説にあるように、当時、Allan Hobson 先生、Michel Jouvet 先生がレム睡眠の発現に関しての新しい知見を発表された時期であり、ハーバード大学まで出かけ、Hobson 先生の共同研究者の Robert McCarley 先生とお話させていただいたことがあります。ハーバードの実験室といっても狭いなあというのが印象でした。

また、当時は内菌耕二先生が睡眠物質を追求されていました。ある研究会で「睡眠物質はアデノシン……」とおっしゃっていたように思うのですが、私の間違いでしょうか。かなりありふれた物質が候補に出てきて、ちょっとがっかりされたような話しぶりだった記憶があるのですが。どなたか、ご存じの方がいらっしゃいましたら、教えていただければ幸いです。

今月号の特集を読むと、今でも電気生理学的手法が睡眠の制御機構の探索手段の根っこにありますが、最近は分子生物学的手法の発達で睡眠の研究を大きく前進させていることがよくわかります。ここまで物質や受容体のことがわかってきたなら、安全安心(?)な睡眠薬がすぐにでも開発されそうに思うのですが、そうはいかないところが睡眠の神経機構の複雑さなのでしょう。オレキシンの睡眠と摂食という動物にとって個体維持のための必須の行動にかかわっているあたりに、改めて生体制御のすばらしさを感じるとともにその複雑さが理解できるように思います。

人間は人生の1/4~1/3を寝床の中で過ごすわけですが、睡眠の全容が解明されるまで、専門の先生方に研究はお任せして、春眠暁を覚えず、申し訳ありませんが私のような凡人はまだしばし惰眠をむさぼることとします。

(泰羅雅登)

BRAIN and NERVE (第64巻 第6号)

2012年6月1日(毎月1回1日発行)

定価 2,835 円〔本体 2,700 円+税 5% (配送料実費)〕

2012年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)

冊子版 35,670 円、冊子+電子版 個人 40,670 円/共有 46,100 円、

電子版 個人 35,670 円/共有 41,100 円

販売部直通電話 (03)3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2012. Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。